

2022年3月期 第2四半期決算説明資料

アルファグループ株式会社 （証券コード：3322）



1. 第2四半期連結実績
2. 通期業績予想
3. 事業概要
4. 今後の取り組み

1. 第2四半期連結実績

第2四半期連結実績：決算概要

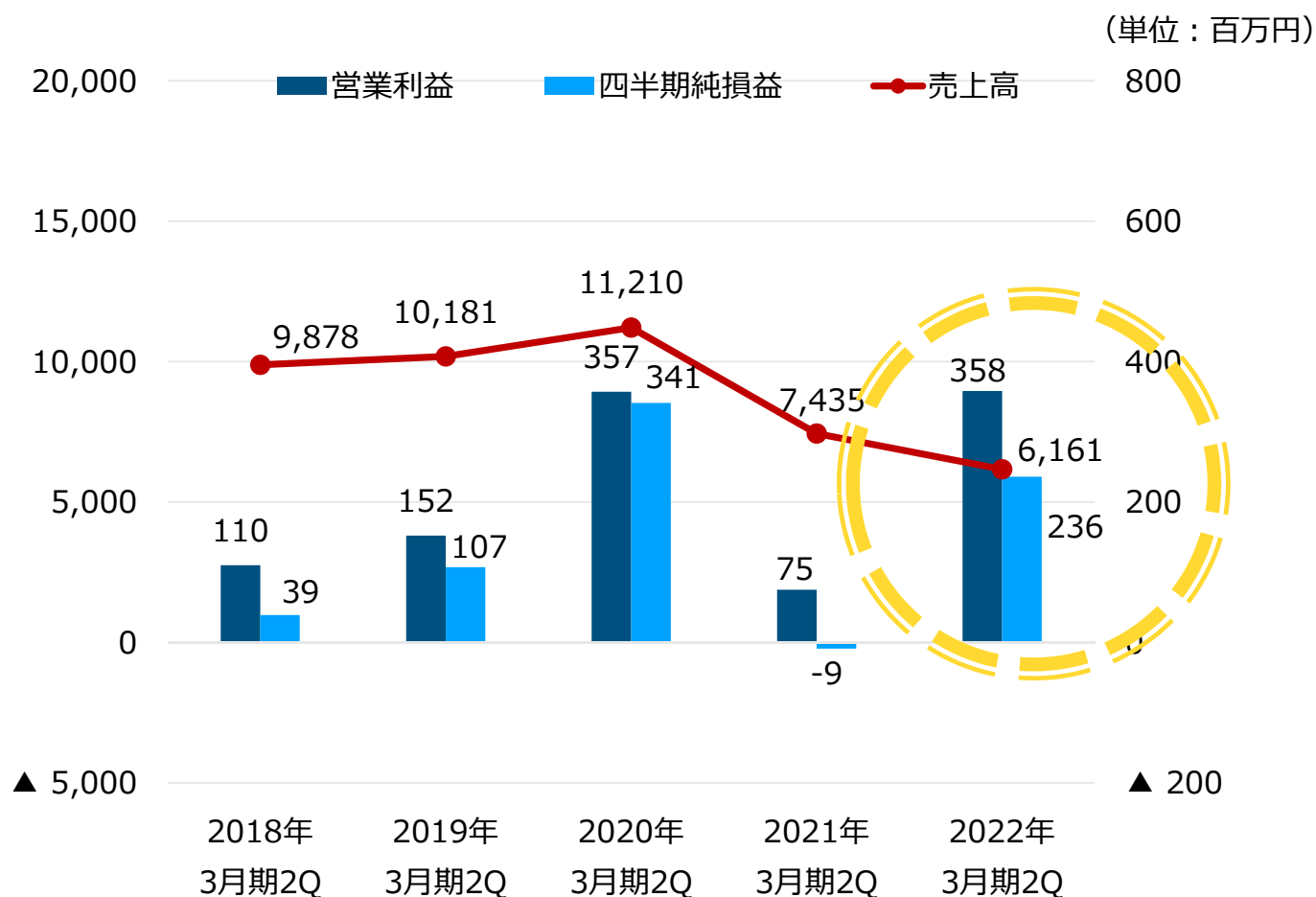
(単位：百万円)

	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	対前年同期 実績増減額
売上高	7,435	6,161(※)	▲1,247
営業利益	75	358	283
経常利益	92	400	308
親会社株主に帰属する 四半期純損益	▲9	236	245

(※) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用したため、主に「B to Bイノベーション事業」に関わる売上高の計上に影響し、売上高が前年同期に比べ減少しております。

第2四半期連結実績：業績推移

コロナ禍においても投資を継続し、増益



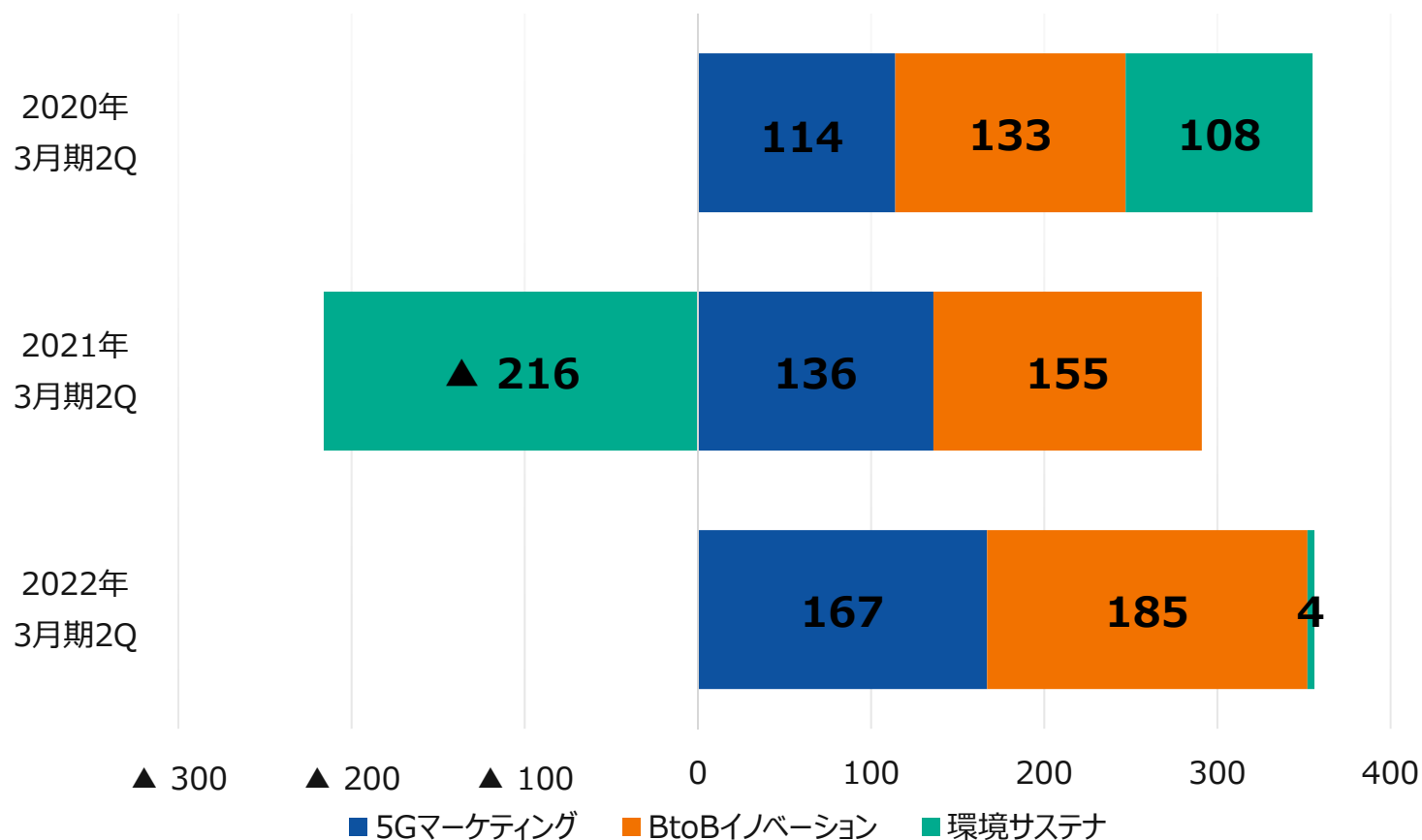
第2四半期連結実績：セグメント別業績

(単位：百万円)

		2022年3月期 2Q累計実績	前年実績	増減額
売上高	5Gマーケティング	4,837	4,110	727
	BtoBイノベーション	406	2,616	▲2,210
	環境サステナ	922	714	208
営業利益	5Gマーケティング	167	136	31
	BtoBイノベーション	185	155	30
	環境サステナ	4	▲216	250

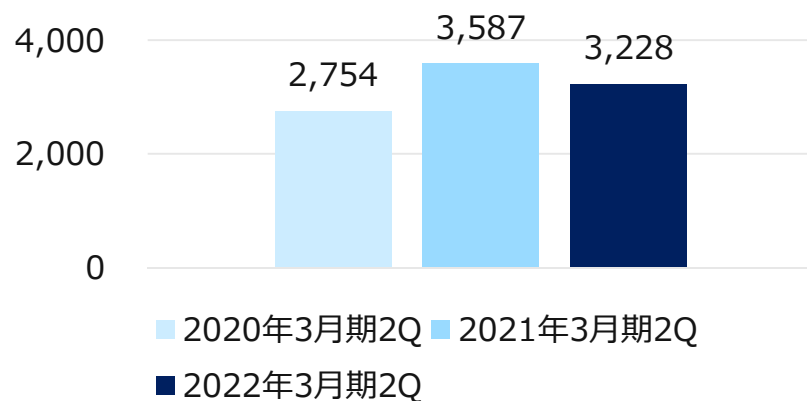
第2四半期連結実績：セグメント別利益推移

(単位：百万円)

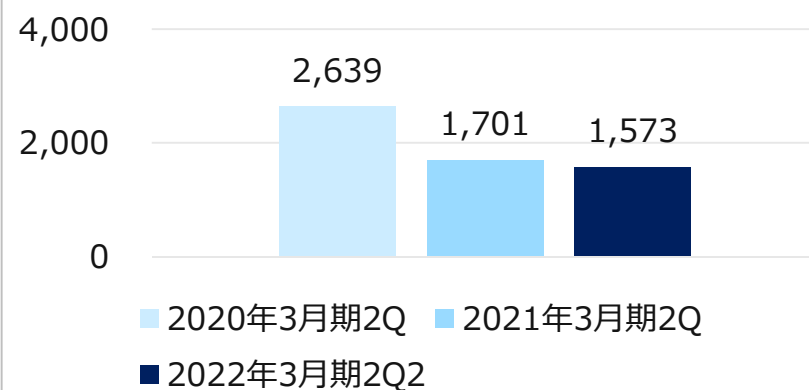


第2四半期連結実績：財務状況

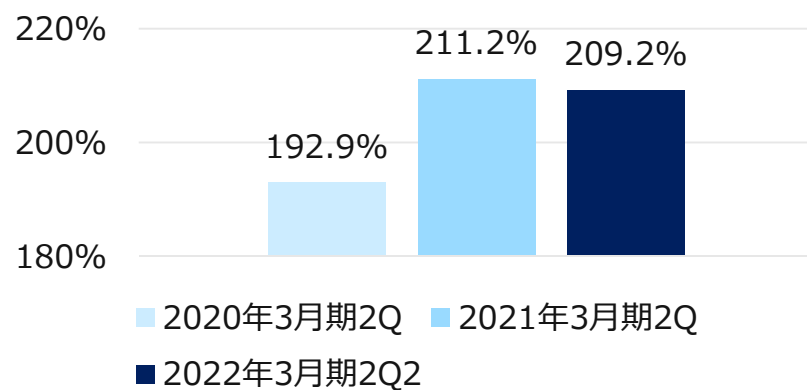
現金及び預金



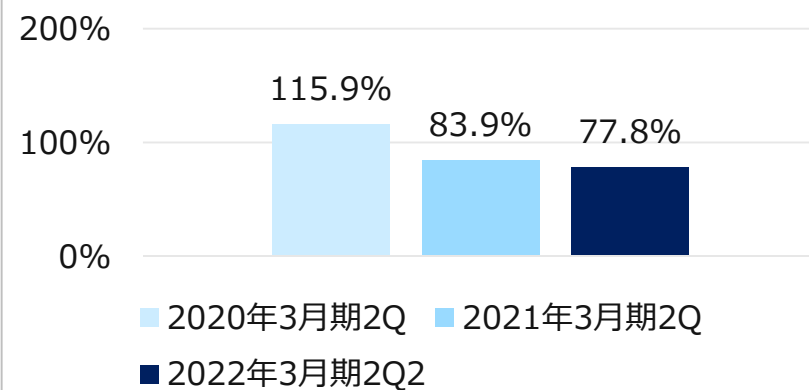
借入金



流動比率



負債比率



第2四半期連結実績：総括

新型コロナウイルス感染症の流行により経済活動が自粛される傾向の中、前期積極的に事業投資を継続したことが功を奏し、いずれの事業においても**増収**となった。

特に環境サステナ事業においては、LED照明機器の販売・レンタルを順調に拡大すると共に、前期より開始したエネルギー利用状況のコンサルティングサービスも収益化が進んだことにより、**今期の総投資額を上回る収益が確保**される結果となった。

2. 通期業績予想

通期業績予想：概要

(単位：百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 通期業績予想	対前年 実績増減額
売上高	16,600	14,726	▲1,874
営業利益	298	500	202
経常利益	351	540	189
親会社株主に帰属する 当期純利益	211	417	206

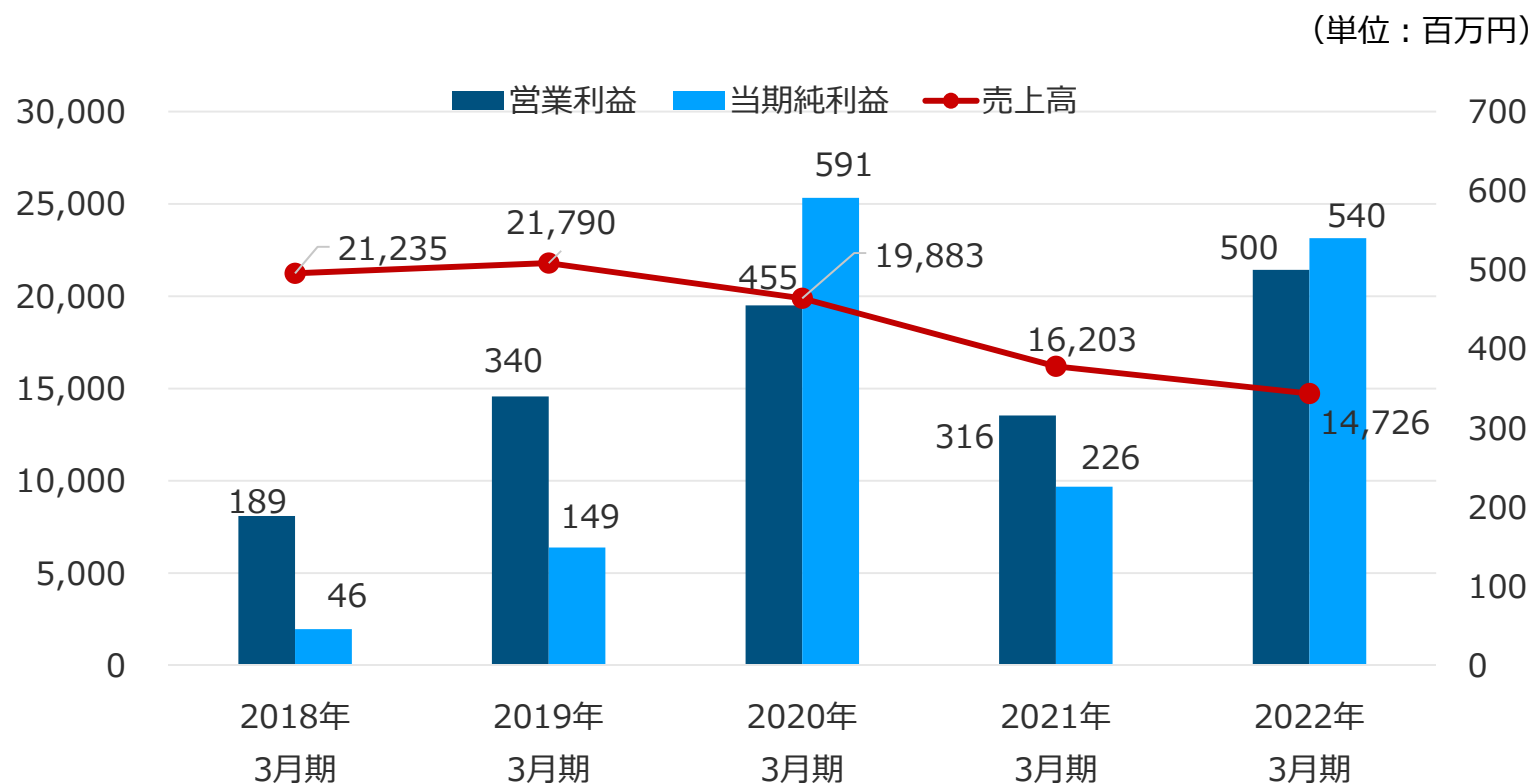
通期業績予想：セグメント別予想

(単位：百万円)

		2022年3月期 通期業績予想	前年実績	増減額
売上高	5Gマーケティング	11,190	9,507	1,682
	BtoBイノベーション	761	5,349	▲4,587
	環境サステナ	2,774	1,756	1,017
営業利益	5Gマーケティング	177	284	▲107
	BtoBイノベーション	206	289	▲83
	環境サステナ	116	▲275	392

通期業績予想：推移

これまで継続した投資が実を結び、増収見込み



3. 今後の取り組みなど

2022年3月期通期予想：総括

5Gマーケティング事業、BtoBイノベーション事業に次ぐ収益基盤の構築を目指し、環境サステナ事業へ積極的に投資を進めた結果、投資額を収益（回収額）が上回るまでに成長し、**当社の安定収益基盤が3本の柱として確立される。**

今後もより安定的な収益基盤の構築を目指すと共に、引き続き、次ページ「SDGs」への取り組みも強化していく。

今後の取り組み：A SDGs①



国連により設定されたSDGs（持続可能な開発目標）を受け、アルファグループならではのSDGs、“A SDGs”（持続可能なアルファの事業目標）をスタート。

「社会の変化のスピードが上がり続ける中、アルファグループが先頭に立ってより良い変化の形をつくっていききたい」という思いを込めて“A SDGs”と命名。

具体的には「健康・長寿の達成」「成長市場の創出・科学技術イノベーション」「インフラ整備」「省・再生可能エネルギー」「あらゆる人が活躍する社会」の5つをテーマとして掲げる。

今後の取り組み：A SDGs②

健康・長寿の達成

成長市場の創出・科学技術イノベーション

インフラ整備

省・再生可能エネルギー

あらゆる人が活躍する社会

“A SDGs”



本資料について

本資料に記載されている当社の計画、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料作成時において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内での判断に基づくものです。

しかしながら、現実には通常予測し得ないような特別事情の発生または結果の発生等により、本資料記載の計画とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社は、投資家の皆さまにとって重要と考えられるような情報の積極的な開示に努めてまいります。本資料の計画のみに全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えいただきますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先： 経営企画IR担当 03-5469-7302